

令和8年  
1月号

# 地域おこし 協力隊新聞



阿智村産業振興公社  
熊谷 萌

あけましておめでとつござい  
ます。昨年は本当に多くの方にお世話  
になりました。本年もまたよろしく  
お願いいたします。

日に日に寒さが厳しくなってきた  
ね。寒くて乾燥しやすい冬の時  
期はどうしても免疫力が低下しやす  
く、普段よりも風邪をひきやすいそ  
うです。そんな体調を崩しやすい今  
の時期は色々あったかくして体を大  
事にしてくださいね。私は学生ぶり  
にインフルエンザを発症してしまっ  
たのでほかのウィルスや感染症に負  
けないように一層、気を張っていき  
たいと思います。そんな昨年の反省  
を込めて今年の抱負は「健康第二」  
「二日一善」「質素儉約」の三つに重  
きを置いて日頃から精進していきた  
いと思います。

野菜の出荷が少しずつ落ち着き、  
年末年始が近づいた頃から公社では  
冬の一大イベント「市田柿づくり」  
が始まります。私は主に圃場にいる  
みなさんが丹精込めて作ってくれた  
市田柿を袋詰めにする作業を行って  
おりました。見栄えが少しでも良  
くなるように綺麗にトレーに並べなが  
らパートさんや公社職員さんと、今  
年度の干し柿はぶっくりと膨らんだ  
綺麗なものが多くて美味しそうです  
ね。なんて話していたらどうも食べ  
たくなくなってしまったので一袋だけ購  
入して食べてみました。

個人的には噛み切りにくい硬さの  
干し柿を好んで食べていましたが、  
今年のぽつりとした干し柿を食べ  
て上品な食感に感動してしまいまし  
た。食感以外にも柔らかい干し柿の  
ほうがクリームチーズを挟んで洋風  
アレンジしてみたり、ジャムにして  
みたりと料理としても利用しやす  
く、楽しみの幅が広がったことで柔  
らかい干し柿のほうが好みになりま  
した。今度はバターを挟んでレンチ  
ンしてみたいと思います。

おすすめの干し柿の食べ方があれ  
ばまた顔を見るときに教えてほしい  
です！よろしくおねがいします！



建設農林課  
小田 智

阿智村の皆様、こんにちは。

今回も「地域発元気づくり支援  
金」事業（ペット用鹿肉ジャーキー  
事業）の進捗についてお知らせいた  
します。

鹿肉ジャーキーは、試作を続けて  
いて、11月9日開催の阿智祭の会場  
で試供品を配布させていただきました  
。天気が悪いなか会場まで足を  
運びいただいた方、配布をして下  
さった林務係の方に感謝申し上げま  
す。試供品のご感想・ご意見を協力  
隊までお聞かせいただけると嬉しく  
思います。

さて、「地域発元気づくり支援金」  
事業では、鹿の未利用部位の有効活  
用がテーマになっております。新た  
な商品として鹿のレバー、肺、骨な  
どの未利用部位を活用した「鹿肉ふ  
りかけ」の製造を関東のペットフ  
ード店にご指導いただいて開発に取り  
組んでおります。その方がおっしゃ  
るには、食欲がない愛犬のドライ  
フードに「鹿肉ふりかけ」をまぜて

あげると食いつきが違ふとのこと  
でした。シニア期の愛犬には年齢に見  
合ったカロリーや栄養バランスが調  
整されているシニアフードがよいと  
されていますが、いつもの食事に  
「鹿肉ふりかけ」を加えてもらえる  
ことで不足している栄養素を手軽に  
補うことができると思っています。

例えば鉄分（鹿のレバーは吸収率  
の高いヘム鉄を多く含んでいます）  
を補いたいのであればレバーを多く  
配合した「鹿肉ふりかけ」を、カル  
シウム、リンを補いたいのであれば、  
骨（あばら骨を砕いて原料にしてい  
ますので、カルシウム、リンが豊富  
な骨髓も多く含まれます）を多く配  
合した「鹿肉ふりかけ」を選択いた  
だくことで、それぞれの栄養素の補  
給が見込まれます。

「鹿肉ふりかけ」もできるだけ早  
く、商品化できるよう頑張っておりま  
すので、どうぞ宜しくお願いいた  
します。





阿智村産業振興公社  
山田 正剛

新年あけましておめでとうござい  
ます。本年もよろしくお願い申し上  
げます。本格的な寒さを迎える今日  
この頃、皆様いかがお過ごしでしょ  
うか。今回は、昨年末に参加したセ  
ミナーでの学びについて共有させて  
いただきます。

先日、南信州地域振興局南信州農  
業農村支援センター主催のセミナー  
に参加し、日々の農作業を見直す重  
要性を痛感しました。

座学ではトヨタ式カイゼンと  
BCP（事業継続計画）について学  
びました。カイゼンは製造業の手法  
というイメージが強かったのです  
が、農業にも十分応用できると実感  
しました。

特に印象的だったのが「整理・整  
頓（5S）」の考え方です。道具の  
置き場所が定まっていなかっただけ  
で、探す時間が積み重なり、コスト増に  
つながる。また、整理整頓が行き届  
いていない作業場では事故のリスク

も高まるなど、具体的な事例を通じ  
て学んできました。

BCPとは、自然災害など予期  
せぬ事態に備えた対応計画のこと  
です。リスク管理の視点を持つことが、  
災害時の事業継続や早期復旧につな  
がることを学びました。近年、自然  
災害が多発する中、こうした備えの  
必要性を強く感じました。

別の日には、実際にカイゼンを取  
り入れている稲作農家を訪問しまし  
た。現場では、整理整頓された道具  
配置に加え、クラウドサービスの活  
用が印象的でした。スケジュール管  
理は 구글カレンダー を利用し、  
作業予定や人員配置を可視化。圃場  
管理にはアグリノートを使い、作業  
記録を一元化していました。いずれ  
も管理が楽になり、わかりやすくな  
ったとのことでした。



阿智村産業振興公社  
松浦 未洋

新年、あけましておめでとうござい  
ます。阿智村の皆様、役場、公社職員  
の皆様のおかげで、地域おこし協力隊  
の活動や長野ライフを満喫させていた  
だいております。本年もよろしくお願  
い申し上げます。

さて、冬の作業である市田柿づくり  
について学ばせていただきました。皮  
むき、つるし、乾燥、揉み等々、作業  
を進めていく中で、もう少し皮むきを  
丁寧になれば、機械をもう少しうまく  
使えば、柿の実をとる作業を丁寧にし  
れば、枝などの剪定も熟しやすいう  
に日当たりをもっと意識すれば、摘果  
の仕方に工夫をすればなど一つ一つ  
前の作業について考えさせられました。  
おいしい市田柿を作るために、木、  
枝をうまく作ることが後々においし  
い市田柿になるのだと実感し、奥深さを  
知ることができました。

楽しい長野ライフを夢見て移住して  
きた年配者が、これから取り組む仕事  
としては、柿剥き機などの機械や柿を  
干す場所の確保など設備投資や業務量  
の課題はありますが、この地域に根差  
した食文化の継承していくことの意義  
や、収入確保の方法として、しっかり  
検討しつつ、技術の習得に努めていき

たいと考えています。

何より一つ一つ製品になっていく姿  
を見るのはとても楽しいですね。

☆年末帰省するために、本場の信州そ  
ばを年越しそばにするため、何がいい  
かスーパーなどを物色していたのです  
が、年越しそばをおすすめという文字  
もなく…。

周りの方たちに年越しそばにおすす  
めのそばを尋ねてみたところ、この地  
域では年越しそばという風習があまり  
なく、お年取りとして、豪華な食事  
をとりながら新年を迎えるご家庭が多  
いとのこと。

昨年、阿智村に来てから、これまで  
食べたことのない山菜やきのこ、これ  
までしたことのないメニューなどの  
地域ならではの「食」に触れ合えるの  
も大きな楽しみの一つです。

ビタミンちくわ？見慣れないもので  
したが煮物をおすそ分けいただきました

たが、独特  
の食感でお  
いしかった  
です。（料理  
された方の  
腕がいろいろ  
でしように  
うけど）まだ  
丸塩イカに  
は手を出せ  
ていないん  
ですよ。

